



くすの木

基本理念：地域に信頼され親しまれる病院を目指します。

野村病院だより「くすの木」は、管理栄養士による「ヘルシーレシピ」や病院スタッフの紹介など野村病院や健康に関する情報満載の季刊誌です。

外来診療担当医一覧

科目	時間	月	火	水	木	金	土
消化器内科	午前		古川		辰川		
	午後		古川			瀧川	
循環器内科	午前	落海		北川		東	
	午後						
外科	午前	井上・伊藤	井上・伊藤	右近	井上・右近	伊藤	井上・右近
	午後		右近	伊藤		右近	
乳腺	午前	高永甲・木村	高永甲	高永甲	高永甲	高永甲	高永甲(第1・3・5)
	午後		高永甲	高永甲		高永甲	
整形外科	午前			作田			
	午後	少前					
神経内科パーキンソン専門外来	午前						久米(第1・3・5) 森野(第4)
	午後						
脳神経外科	午前						
	午後		広島大学(16:00まで)			広島大学(16:00まで)	

外来診療のご案内

- 内科(消化器・循環器・呼吸器・内分泌・神経・内視鏡)
- 外科(消化器・肛門・乳腺・呼吸器)
- リハビリテーション科 ●麻酔科
- 脳神経外科 ●整形外科

受付 TEL 082-875-1111
FAX 082-850-2825(地域連携室直通)
受付時間/午前8:30~12:00 午後13:00~17:00

午前中の診療は予約制です。ご予約のない患者様は担当医以外の診察となる場合がありますのでご了承ください。

総合診療科 診察時間

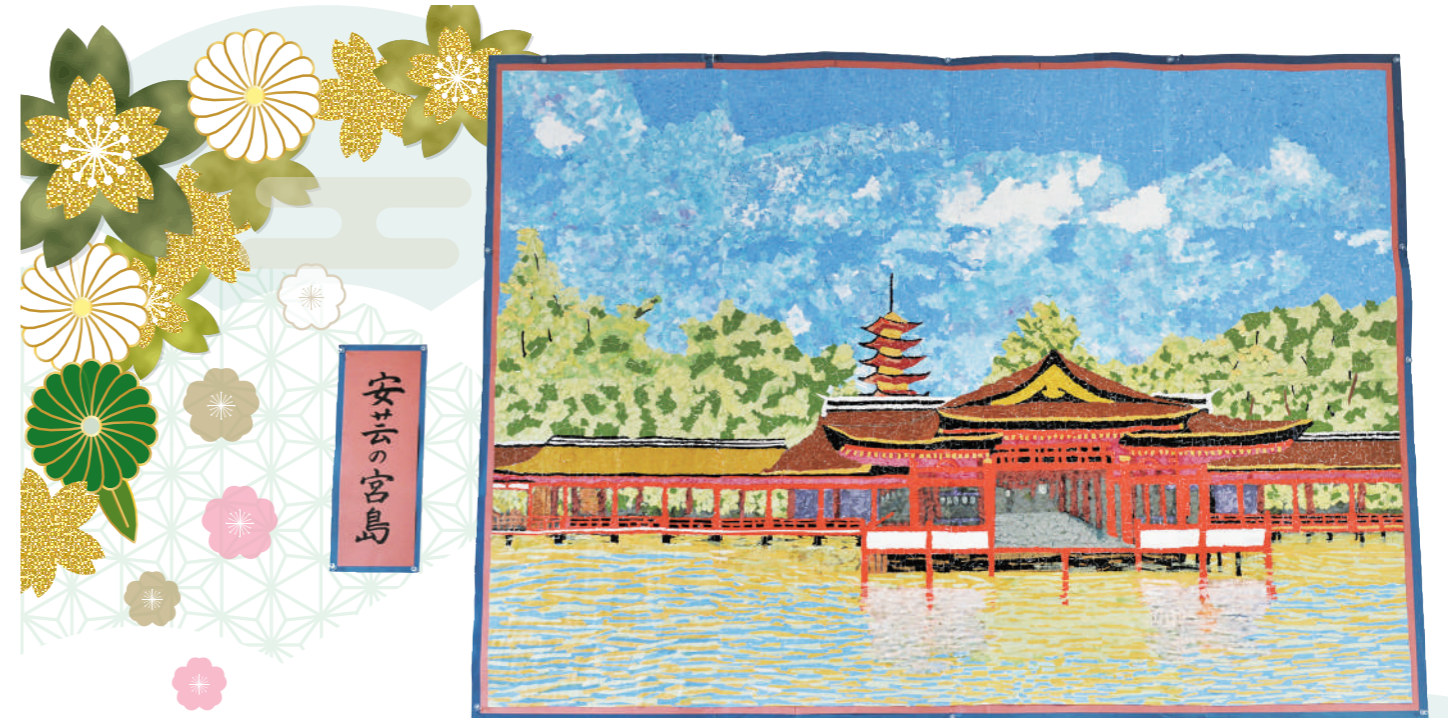
	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後 14:00~17:00	○	○	○	○	○	休	休

※ただし初診および急患は予約の有無に限らず随時診察いたします。

アクセスMAP



- 広交バス「祇園出張所前」下車・徒歩3分
- 可部線「下祇園駅」下車・ゆめタウン方面へ徒歩3分



Vol.92
2023.1

七福神

新年あけましておめでとうございます。

さて、この度デイサービスセンター「ぎおん」では、利用者様と新年に向けて和紙の包装紙で縦1m10cm横1m60cmの「安芸の宮島」、そして「七福神」を製作して参りました。

「安芸の宮島」では、宮島の大鳥居も新しくなり、宮島のすばらしさを表現させて頂きました。

「七福神」では、全て新聞のチラシから色を探し出し製作されたものです。「七難即滅、七福即生」、心を込めて作りました。

お時間ございましたら、是非当所で作品をご覧になっていただけたらと思います。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

チーム医療のご紹介

摂食機能療法チーム

食べたい・たべさせたいの希望に添えるよう病院全体で取り組んでいます



医師・看護師・言語聴覚士・放射線技師・栄養士など他職種が連携してVF（嚥下造影検査）・評価を行い、摂食機能訓練につなげています。



看護師や看護補助者は摂食機能について、定期的に勉強会を開催し、知識や技術の向上を図っています。

おいしく食べられる喜びを分かち合えるようスタッフ全員で患者様をサポートします

入退院支援調整チーム

看護師と医療ソーシャルワーカーの協働による入退院支援チーム

入院時から退院後の生活を見据えた看護ケアを展開し、患者様の療養生活の質を高める支援を目指しています。



看護師とカンファレンスで情報共有し、本人・ご家族の意思に沿いつつ、院内や地域の関係機関と協力して、退院先や療養生活を支援しています。

新年明けましておめでとうございます。

令和5年新春を迎え一言ご挨拶を申し上げます。

昨年度は、第5波による新型コロナウイルスの爆発的感染により、広島県にも緊急事態宣言が発令されました。と挨拶の冒頭としていましたが、経済活動も再開され、現在は若年層を中心に感染が拡大しており、全国で感染者が20万人に達しようとしています。感染状況も昨年と同様に変化はありません。しかしながら重症者は減少し、死亡者数も増加していません。インフルエンザ感染拡大も昨年同様に予測されています。今の所、皆様の感染予防対策により、感染拡大は起きていません。昨年は当院もコロナ感染のクラスターが発生し、病院経営に多大な影響をもたらしました。行政の経営する大病院にはかえりませんが、当院では可及的に感染対策を行っています。

これまで通り、感染予防対策をしながら、我々は地域を守っていかねばなりません。今年も基本理念「地域に信頼され親しまれる病院」を念頭に、職員一同、多職種でチーム医療を行い、皆様に満足していただける医療・介護サービスを提供できるよう一層努力して参ります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



理事長 兼 病院長
井上 秀樹

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスとの戦いもいつの間にか3年が過ぎ、現在第8波が到来しています。広島県での感染者は、多い時は1日6,000人余りの時もあり、当院でもクラスターが発生しないように努力している毎日です。いったい何波まで来るのか分かりませんが、粘り強く戦っていきたくと思っています。

昨年暮れの12月19日までの約1か月間、カタールで中東初のワールドカップが開催されました。メッシ率いるアルゼンチンが、若きエースのエムバペを擁するフランスとの壮絶な戦いを制して、マラドーナ以来36年ぶりに優勝をしました。日本もドイツ、スペインに劇的な勝利をし、ベスト16まで行けました。振り返ってみて、個々の力を磨き、それをチームワークで結集させて粘り強く戦うチームが強いと感じました。

当院でも同様に、個々の力を高め質の高いチーム医療を目指していきたくと思っています。

そのうえで、地域の祇園地区や安佐地区にお住いの皆様のために、近隣の医療機関の皆様と一緒に力を合わせて少しでも貢献が出来ればと考えています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



院長補佐
高永甲 文男

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染も4年目となり当院においても日々、コロナウイルス感染症との闘いで、現場も私生活も多くの制限を受けながら奮闘しているところです。昨年は一時期院内でも感染症が増え、多くの支援を受けながら看護部、コメディカルが一体となって業務を行いました。患者様やご家族には大変なご迷惑をおかけしましたがご協力ありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。

昨年11月より看護部に新しく副看護部長と新看護師長が加わり、看護管理者として副主任から看護部長まで計5名となりました。病棟管理者も部署異動し、これまでとは異なった目で職場を見て見える環境を作り、地域の皆さんに信頼され親しまれるよう努力していきたいと思っています。

今年は癸卯です。卯は穏やかなうさぎの様子から安全、温和の意味があります。更に「癸」と「卯」の組み合わせからこれまでの努力が実を結び、勢い良く成長し飛躍する年になると言われています。今年も一年、看護職員がうさぎのように穏やかにかつ勢いよく元気で、笑顔を絶やさず、安全に看護や介護の提供を実践していきたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



看護部長
田村 幸美